

News Letter

vol.30
2019. 10月号
毎月発行

令和元年

今月のよっしー

宮崎大学医学部最後の卒業試験（ペーパー）が無事に終わりました。今度実習に行く次期6年生（現5年生）からはペーパーは廃止となり、実習での単位取得と来夏に実施予定の実習後オスキー試験がそれにとって代わります。より真剣に実習に取り組んでくれると信じております。

各地にお礼とお願いに伺いました。ありがとうございます。何卒よろしくお願い申し上げます。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「千代田病院」

社会医療法人千代田病院 院長 千代反田 晋 先生

当院は「良識ある正しい医道を実践し、地域医療の向上に貢献致します」を理念に日向入郷医療圏の医療を担っております。病床数は196床（一般病床99床、地域包括ケア病床66床、医療型療養病床31床）からなり急性期診療から慢性期診療までを経験することができます。クリニカルクラークシップⅡ実習期間は2週間で、この間地域包括支援センターでのケアプラン作成ア

セスメント、市役所での個別ケア会議、認定審査会の見学や協和病院での認知症初期集中支援チーム会議などを見学し、地域包括ケアの実際を学びます。

当院での実習は地域における一般診療や入退院支援の実際、救急医療、僻地医療への参加や災害拠点病院としての研修に参加することができます。



総合診療 Tips ー総合診療にまつわる豆知識ー

第12回 「プライマリ・ケア」

プライマリ・ケアの定義や意味合いは幅広く、用いられる場面や状況で多少ニュアンスの異なる場合がありますが、定義の一つに米国国立科学アカデミー（1996年）のものがあります。

『プライマリ・ケアとは、患者の抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的なパートナーシップを築き、家族及び地域という枠組みの中で責任を持って診療する臨床医によって提供される、総合性と受診のしやすさを特徴とするヘルスケアサービスである』

つまりプライマリ・ケアとは、国民のあらゆる健康上の問題、疾病に対し、総合的・継続的、そして全人的に対応する地域の保健医療福祉機能であり、それを担う役割として総合診療医（国によっては家庭医という）が存在します。プライマリ・ケアの特徴を表す5つの理念AOLCCA（家庭医療ではAOLCCC）を、次号から1つずつ紹介していきたいと思います。

＜プライマリ・ケアの5つの理念＞

Accessibility	近接性
Continuity	継続性
Comprehensiveness	包括性
Coordination	協調性
Accountability (Contextuality)	責任性 (文脈性)

第4回実習指導者講習会を開催しました。

9月7日(土)に地域包括ケア実習の受入機関を参加対象とした実習指導者講習会を開催しました。ありがたいことに、実習受入れをいただいている県内各地の医療機関の関係者の皆様に多数参加いただきました。まず冒頭に、吉村先生、桐ヶ谷先生から2018年～19年にかけて実施した地域包括ケア実習の総括と初年度の実習生107名からの実習前後アンケート結果などを報告しました。

次に特別講義として、金沢医科大学の高村昭輝先生から「Longitudinal Integrated Clerkships and Practice～地域基盤型医学教育、教育資源としての地域～」と題して講演をいただきました。高村先生がこれまでオーストラリアや三重大学で取り組まれてきた地域基盤型医学教育の説明に加え、長期滞在型実習の利点やコツなどを丁寧に教示いただきました。

続く医療圏ごとのグループディスカッションでは、実習終了した医学科6年生14名も参加し、参加者の皆様と積極的な意見交換をしてくれました。

今月末から2019～20年の地域包括ケア実習がスタートします。関係者の皆様、今期も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



▲高村先生による特別講義



▲県内各地から48名の参加

第19回日本病院総合診療医学会学術総会 in 佐賀

9月14日(土)・15日(日)と佐賀県で開催された病院総合診療医学会に参加いたしました。教育に関するワークショップや各分野の症例発表がパラレルセッションで開催されており目移りしましたが、身体診察や予防医学などの日常診療での重要性が高い分野を中心に参加し、実践的な知識を得ることができました。また、大いに刺激を受けたのが、今回の大会長講演です。大学総合診療医学講座の役割について、研究・教育はもちろんのこと、各診療科のニーズに答えながら地域の拠点病院と連携することで、大学病院の在院日数を短縮し、病院収益への貢献を果たしているとのことでした。全国の大学病院総合診療科はそれぞれの独自性がありますが、一つのロールモデルとして大変参考になりました。

入局して初めて参加した学会でしたが、全国の総合診療医の熱い思いを感じることができ、大変良い刺激を受けることができました。自分も何かを発信できるように研鑽を積んでいきたいと改めて思いました。(枝元真人)

第17回秋季生涯教育セミナー

9月21日(土)～23日(月)、大阪市において秋季生涯教育セミナーが開催され、9月22日(日)のワークショップ「病院で暴言、暴力、クレームに出会ったら」のセッション講師で参加しました。①家族クレーム、②疾患がらみのハラスメント+多職種コンフリクト、③接遇、という小項目に分け、グループワーク形式で行いました。5グループで各グループにファシリテーターがつき、私は3部の接遇を担当しました。

3時間という長時間にもかかわらず、グループワークは時間切りになるほど盛り上がり、病院、診療所、薬局、訪問など様々なセッティングでみなさんお困りなんだと気づかされました。対応も個人や部署、病院などレベル別になり、ノウハウのニーズも高いようです。早川先生とともに拡大の余地のあるテーマ、コンテンツだと確信しました。(三浦拓)



▲セッションの様子

講座のイベント情報

- 多職種連携教育コーディネーター養成講座 Day2
10/31(木) 10:00～ 場所:コテージ・ヒムカ
- 平岡栄治先生による教育回診・特別レクチャー
11/1(金) 15:30～ 場所:宮崎県立日南病院
- 平岡栄治先生による症例検討会
11/2(土) 9:00～ 場所:JA・AZMホール
- みやざき総合診療オースタムセミナー
11/2(土) 14:00～ 場所:JA・AZMホール
- レジデント・デイ
11/22(金) 18:00～ 場所:串間市民病院

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail: chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp URL: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

